

『点訳フォーラム』より

【質問1】

ル・モンド紙という言葉ができました。「ル・モンド(世界)」意味ですが、フォーラムの語例に「ル■モンド」とでてきたので「ル■モンドシ」分かち書きはわかるのですが、なぜ切るかわかりません。

「Le(ル)」はフランス語の冠詞で英語でいう「The(ザ)」と同じに考えてマスあけすると考えてはみたのですが…。

ル・モンド → ル■モンド
(「ル」は冠詞としての働きが明確)



【回答1】

ル・モンド紙の切れ続きについてはお考えの通りです。「ル」は英語の「the」と同じですし、この場合、定冠詞としての働きが明確ですので区切って書きます。ア・ラ・モードやア・ラ・カルト、カフェ・ラ・テの「ラ」もフランス語の定冠詞ですが、これらは日本語として定着した外来語ですので、一続きに書きます。

【質問2】

フランス語の地名です。長い地名は判断できませんでした。
リスル=シュル=ラ=ソルグ
サン=シル=オー=モン=ドール
2つです。



【回答2】

リスル=シュル=ラ=ソルグは、l'isle sur la Sorgue で、「ソルグ川沿いの町」の意味のようです。リスルが街、sur は～沿いの意味、ラソルグはソルグ川ですので、リスル■シュル■ラソルグと書いてよいと思います。サン=シル=オー=モン=ドールは、saint-cyr au mont d'or で、モンドールは山の名前、そして、au は男性名詞に付く前置詞です。～オーモンドールという街が周囲に数多くあります。saint-cyr は聖シルで人名です。サンシル■オーモンドールと書いてよいと思います。

リスル=シュル=ラ=ソルグ → リスル■シュル■ラソルグ
サン=シル=オー=モン=ドール → サンシル■オーモンドール

【質問3】

ニュー・シネマ・パラダイスの分かち書きは？

てびき 103 ページ 備考 点字で本来一続きに書く語は中点を省略しということで、「ニューシネマ」と続け、「・パラダイス」はてびき 102 ページ(2)②誤読を避けるためや語句の切れ目を明らかにする為に用いられている中点なので、省略し、その部分を一マスあけて書いて「ニューシネマ■パラダイス」でよろしいでしょうか？

【回答3】

文字通りの「ニューシネマのパラダイス」でしたらお考えの通りなのですが、「ニュー・シネマ・パラダイス」という映画もあるようです。映画のタイトルでしたらニュー■シネマ■パラダイスになります。映画の内容を見ると、小さな村に住んでいた主人公が、焼失した映画館を再開し、その映画館が「新パラダイス座(Nuovo Cinema Paradiso ニューシネマパラダイス)」ということです。「ニューシネマのパラダイス」ではなく、「シネマ■パラダイス」の「ニュー」なので、分かち書きを含む複合語全体に「ニュー」が付いた形になります。

ニュー・シネマ・パラダイス → 二通りの考え方

1つ目は、「ニューシネマのパラダイス」ということで

→ ニューシネマ■パラダイス

2つ目は、映画のタイトルで

→ ニュー■シネマ■パラダイス



【質問4】

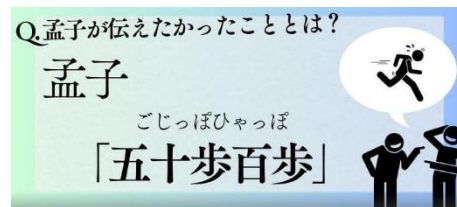
五十歩百歩は「数50ポ■ヒャッポ」と点訳フォーラムの語例であったのですが、「五十」は数字で、「百」は仮名で書くのはなぜですか？

「五十歩」がてびき33ページ(1)の数を含む言葉は数字で表すことを原則として「百歩」はてびき35ページ(4)数量や順序の意味が薄れた言葉として考えられますか？

【回答4】

五十歩百歩は、全体として具体的な数の意味は薄れていますが、50は読みやすさや分かりやすさを考慮して数字で表記することが定着しています。

数50ポ■ヒャッポ



【質問5】

紫式部本人による現代語訳「紫式部日記」の中に出てくる文章で漢数字の「一」の書き方で、「数符1」と表記してもいいでしょうか？それとも、「いち」と仮名でかくのでしょうか？

〈以下文章です〉

わたしは人前では漢字を書いておりません。もっとも簡単な真名というのは？一、ですね。この、一、の字をすーっと横に引いたりもしなかった。

【回答5】

「一」は、あくまでも数字を意味しますので、数1と書き、この文の場合は最初の「一ですね」のところで、数1(カンスージ)と入れてはどうでしょうか。

一、ですね。 → 数1(カンスージ)、デスネ →



『点訳フォーラム』より

【質問】

中点の使い方「1・2・3・4・5・1・2」「月・火・水・木・金」と、「タララータララー」「タラララタララララー」のマスを教えてください。

以下の文の中に出てきます。

何度も考えた末、もしかすると、その原因となっているのがこの、7拍子というリズムにあるのではないかと思ったのです。「1・2・3・4・5・1・2」というリズムが、日常から輝きを奪っている・伊福部昭のゴジラのテーマを思い出してください。あの曲は変拍子で、効果的に5拍子が登場することによって恐怖を与えているのですが、「タララータララー」に続く「タラララタララララー」こそまさに5拍子。「月・火・水・木・金」という平日のリズムに恐ろしさが生じ、日常や勤労に対する喜びを奪っていたのです。

・中点は「1・2・3・4・5・1・2」「月・火・水・木・金」はてびき 102 ページ(2)②で1マスあけでと考えて一マスあけでいいのかなと考えて「1■2■3■4■5■1■2」「月■火■水■木■金」。

・「タララータララー」「タラララタララララー」は歌うときのようなマスアケで「タララー■タララー」「タラララ■タララララー」でいいですか？

【回答】

すべてお考えの通りです。中点の箇所も、「タララータララー」と歌っているとこも、お書きになったマスあけでよいと思います。

中点

「1・2・3・4・5・1・2」「月・火・水・木・金」 → 「1■2■3■4■5■1■2」「月■火■水■木■金」

・『てびき 102 ページ』(2)② より

(2) 点字では用いない中点

上記以外の用途で用いられている墨字の中点は、省略して続けて書く、適切なマスあけに代える、他の記号を用いる、などの工夫をする。

②誤読を避けるためや語句の切れ目を明らかにするために用いられている中点で、点字のマスをあけに置き換えられるものは省略し、その部分を一マスあけて書く。

メイド・イン・ジャパン メイド□イン□ジャパン
ミッドナイト・エクスプレス ミッド□ナイト□エクスプレス
ジョージ・ワシントン ジョージ□ワシントン

J・F・K ☺☺☺J □☺☺☺F □☺☺☺K
マザー・テレサ マザー□テレサ
まど・みちお マド□ミチオ
1890・11・1 ☺☺☺1 8 9 0 □☺☺☺1 1 □☺☺☺1
東京・高尾山 トーキョー□タカオサン
大阪・道頓堀 オオサカ□ドートンポリ
元・東大教授 モト□トーダイ□キョージュ

現・千葉県 ゲン□チバケン
 地元・札幌 ジモト□サッポロ
 石川准・教授 イシカワ□ジュン□キョージュ
 執筆者・鈴木一雄氏 シッピツシャ□スズキ□カズオ□シ

マスアケ

- ・「タララータララー」→「タララー■タララー」
- ・「タララララタララララー」→「タララララ■タララララー」



ハッピーマンデーができて祝日の個性がなくなり、休日の数も変わりましたが、長いこと続いた「1週間は7日」という枠をいよいよ壊す時がきました。役割は終えたのです。情報のスピードも変わりました。これからは、「週5日」新たなリズムで地球も回ります。それが、未来への贈り物。「あの時代の人たちが、リズムを変えてくれたんだね」と感謝されるでしょう。

私がなぜこんなことを考えていたかという点、どうして生きていることは素晴らしいのに、それを実感することが少ないのか、という壁に遭遇したからです。何度も考えた末、もしかすると、その原因となっているのがこの、7拍子というリズムにあるのではないかと思ったのです。「1・2・3・4・5・1・2」というリズムが、日常から輝きを奪っている。伊福部昭のゴジラのテーマを思い出してください。あの曲は変拍子で、効果的に5拍子が登場することによって恐怖を与えているのですが、「タララータララー」に続く「タラララタララララー」こそまさに5拍子。「月・火・水・木・金」という平日のリズムに恐ろしさが生じ、日常や勤務に対する喜びを奪っていたのです。1拍子リズムが遡ると同じメロデーでも違って聞こえます。踊れるものも踊れなくなってしまう。文明やテクノロジーが進化し、我々の暮らしも変化こそすれど、結局、人生を享受できていないのではないのでしょうか。気持ちよく踊れていない。

ならば、リズムを変えるのです。「1・2・3・1・2」のリズムで人生を踊るのであります。平日をワルツに。もし実行したら、ほとんどの悩みが解消し、気持ちのいい日常に変えることでしょう。人生を謳歌できるでしょう。世界中で生きる喜びのメロデーが響くと信じています。

では、これからひつまぶしを出汁でいただきます。ワルツのリズムでまた明日！

『点訳のて
びき 第3
版 Q&A
第2集』より

Q122 手紙やまえがき、あとがき等で末尾に、行頭から少し下げて書いてある日付等は、何マス目から書いたらよいでしょうか。また、そのとき原文で1行あけて書いてあるとき、点訳でも原文通り、1行あけて書いてよいでしょうか。

第1文を《5マス目から書くのが一般的ですが、7マス目から書くこともできます。》

なお、墨字では視覚的なバランスを考えて、行あけがしてある場合もありますが、点字では、行をあけないで書くのが一般的です。

『本間一夫と日本盲人図書館』より

衷心からの感謝を申し上げます。

2015年 晩夏

.....
.....
.....P.....

元さんのご奉仕に期待して、ご挨拶を終わります。
昭和17年6月10日記す

.....
.....

いたしております。
昭和18年7月 点訳者 鷲淵佐智子

.....
.....
.....

『初めての点訳第3版・指導者マニュアル』より

向けの配慮を加えてあります。

2021年2月20日

【初めての点訳第3版】指導者用マニュアル作成プロジェクト委員会

.....
.....
.....
.....

『点訳のてびき 第3版 Q&A 第2集』より

録してあります。

2010年8月20日

「点訳のてびき 第3版 Q&A 第2集」
編集プロジェクト委員会

.....

.....P.....

.....

.....P.....

最後に、筆が乗らないときも忍耐強く寄り添ってくださった編集の糸賀蓉子さんに心より感謝申し上げます。

し斗自白と上にお返りである
時は、マスからマス

2021年3月
ながたみかこ
糸賀

『点訳フォーラム・点字表記の語例』より 「百」がつく言葉抜粋

五十日百日の祝い	イカ■モモカノ■イワイ
一罰百戒	数1バツ■ヒヤッカイ
嘘八百	ウソ■ハツピヤク
お百度参り	オ数100ド■マイリ
漢方百薬の長	カンポー■ヒヤクヤクノ■チョー
疑問百出	ギモン■ヒヤクシュツ
五十歩百歩	数50ポ■ヒヤツポ
五百羅漢	数500=ラカン
四十八茶百鼠	シジューハッチャ■ヒヤクネズミ 江戸時代の色のバリエーション。非常に多くの茶・鼠色のこと
老舗百貨店	シニセ■ヒヤッカテン
四百四病	シヒヤクシビョー 「人間のかかる病気のすべて」の意
四百余州	シヒヤクヨシュウ 「中国全土」のこと
諸子百家	シヨシ■ヒヤッカ
数百冊	スーヒヤクサツ
雀百まで踊り忘れず	スズメ■ヒヤクマデ■オドリ■ワスレス
年百年中	ネンビヤク■ネンジュー
八百八町	数8ピヤクヤチョー
八百八橋	数8ピヤクヤバシ
一金百万円也	ヒトツ■キン■数100マンエンナリ
百害あって一利無し	ヒヤクガイ■アッテ■数1=リ■ナシ
百獣の王	ヒヤクジューノ■オー
百条委員会;100条委員会	数100ジョー■イインカイ
百戦錬磨	ヒヤクセン■レンマ
百態	ヒヤクタイ さまざまな様子
百度参り	数100ド■マイリ
百日芋	ヒヤクニチイモ 「じゃがいも」のこと
百年忌	数100ネンキ
百年杉	ヒヤクネンスギ
百聞は一見に如かず	ヒヤクブンワ■数1ケンニ■シカズ
百発百中	ヒヤツパツ■ヒヤクチュー
百万遍念仏	ヒヤクマンベン■ネンブツ
百も承知	ヒヤクモ■ショーチ
富嶽百景	フガク■ヒヤツケイ
文句を言うなんて百年早い	モンクヲ■イウナンテ■ヒヤクネン■ハヤイ
現場百遍	ゲンバ■ヒヤツペン
一念五百生	イチネン■数5ヒヤクショー 一念の妄想の報いを五百生にわたって受けるという戒め
天神地祇八百萬神	アマツカミ■クニツカミ■ヤオヨロズノ■カミ
百の顔を使い分ける	ヒヤクノ■カオヲ■ツカイワケル

i 脳卒中予防には、食事がとても重要です。食生活のセルフチェックをしてみましょう。
当てはまる項目の□に ✓ を付けてください。3つ以上当てはまる方は注意が必要です。

- 朝食は食べないことが多い
- 夜9時以降によく飲食をする
- 濃い味付けが好みである
- ファストフード、レトルト食品をよく食べる
- 野菜や果物をあまり食べない

Braille representation of the text above, including the list items and the instruction to mark the boxes with a checkmark.

当てはまる項目の□に ✓ を付けてください。

Braille representation of the instruction and the start of the checklist items.

注意が必要です。⠠⠠⠠⠠各項目のチェック欄は省略。⠠⠠⠠

Braille representation of the note and the start of the checklist items.

22.p193 2. マーク類の書き方

行頭にチェックマークを入れる□がついた文の□の書き方について質問です。空欄符号、伏せ文字は使えないので簡条書きとして□を省略してよいでしょうか。この1ページ後に「チェックリスト」として同じ文をまとめて書いた表があります。ここの書き方としては、見出しの後に点訳挿入符を使い次のようにしました。「各項目のまえのチェックマークを入れる空欄の省略、便宜上各項目の始めにa.～j.の番号を付けた」というような内容を付記しました。

【A】

前の方は、□を省略して簡条書きにするのがよいと思います。チェックリストの表の方は、お考えのように《○○ページと同じ文が掲載されています。各項目冒頭にチェックを入れる欄があります。》などのように点訳挿入符で説明するとよいと思います。冒頭に記号や番号を補うのが有効な場合もあると思いますが、単にチェックすることだけが想定されている場合は、番号なしの簡条書きでもよいと思います。「○○ページ」には点訳書の該当ページを入れます。点訳でも前のページであれば「ゼンページ」でもよいと思います。